

# 一般社団法人 全国腎臓病協議会 2021年度(令和3年度)事業計画

## はじめに

(一社)全国腎臓病協議会(以下「全腎協」という)は、1971年3月11日に5つの患者会の代表13名により、全国組織結成のための第1回準備会を東京・神田の喫茶店で開催し、4回の準備委員会の後、同年6月6日に東京・大手町の都立産業会館において全国腎臓病患者連絡協議会を結成しました。「金の切れ目が命の切れ目」と言われた時代、「いつでも、どこでも、誰もが安心して治療が受けられる」ことを目的に、全腎協の活動がスタートしました。この間、1996年9月26日に法人格を取得し社団法人全国腎臓病協議会、2014年4月1日には公益法人制度改革に伴い一般社団法人全国腎臓病協議会となりました。

先人の命を懸けた活動と、多くの関係者、関係団体からの支援をいただき2021年、結成50周年という大きな節目を迎えることができました。

この半世紀の間に、透析の治療技術は大幅に進歩し、私たち腎不全患者は世界一とも称される日本の人工透析治療により、昔では考えられなかった恵まれた環境の中で療養生活をおくることができるようになりました。一方、1989年5月21日第19回総会(当時)で初めて透析患者の高齢化への調査・対策を活動方針に掲げ、それ以降高齢化対策を重要な課題の一つと位置づけ今日に続いています。高齢化はさらに進み、通院自体が困難な患者の増加に対し、入所・入居のための施設対策について引き続き取り組んでいきます。

全腎協の活動も現在では、多岐にわたる活動となり、行政、日本透析医会、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本看護協会等、専門家と引き続き連携し活動するとともに、「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟」(CKD議連)に当事者の立場から参加し、私たちの活動を国会議員に理解してもらうための活動にも取り組みます。このほか、医療保険制度、介護保険制度、病床再編、診療報酬、移植医療・再生医療等の課題が山積しており、これらを解決するため2021年度も引き続きこれら諸課題解決のための取り組みを行います。

また、結成から半世紀が経過した今、組織内では会員の漸減傾向に歯止めがかかりません。今ある諸課題を解決するための活動を行うためには、全国の仲間が一丸となるための組織対策が不可欠です。全腎協では、「活動の灯を消さない」ため、「私たちの命を守る」ための組織対策を最重要課題とします。

さらに、昨年発生した新型コロナウイルス感染症は未だ終息の兆しが見えず、リスクの高い透析患者の感染症対策への取り組みを継続して行きます。

これら諸課題への対策及び解決に向けた取り組みを行うためには、確固たる組織作りが必要です。2021年度全腎協は、先人の命を懸けた活動を継承し、大きな節目の年と位置づけ、今ある諸課題に取り組み「一人じゃない。仲間と一緒に、助け合い」、「みんな笑顔」のために未来へ繋げていくための活動の年にします。これらの課題に取り組むため、次の事業を展開することを提起します。

## 1. 腎臓病に関する市民公開のシンポジウムや講演会の実施

### (1) 2021年度創立50周年記念全国大会

日時：5月30日(日)

会場：ホテルイースト21東京

共催：NPO法人東京腎臓病協議会

※新型コロナウイルス感染症対策のため1年間延期し2022年度開催

### (2) 第31回腎不全対策キャンペーン講演会

日時：未定

会場：愛知県名古屋市内の会場を予定

共催：腎疾患における腎機能低下抑制のための最適制御法検出に関する研究会、一般社団法人愛知県腎臓病協議会

### (3) 腎臓病(CKD)シンポジウム及び講演会等の開催

①慢性腎臓病(CKD)の予防啓発を目的とした講演会

②腎臓病患者の栄養、食事管理についての講演会

③長期透析による合併症対策講演会

④企業との共催による市民公開講座

⑤関係団体等の慢性腎臓病(CKD)対策事業への協力

日時、開催地、講演内容などについて共催団体、企業等と調整中

※新型コロナウイルス感染症対策のため一部リモート会議で開催予定

## 2. 臓器移植普及・推進のための国民に向けた啓発事業の実施

### (1) 2021年度臓器移植フォーラム

日時：10月の臓器移植推進月間開催予定

会場：宮崎県で開催

共催：一般社団法人宮崎県腎臓病協議会を予定

### (2) 臓器移植普及推進月間(10月)を中心に、市民を対象とした全国啓発キャンペーンの実施のほか、通年の啓発活動への取り組み

## 3. 腎臓病に関する無料相談の実施

(1) 専門家(医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、認定心理士)による電話相談事業の実施

相談電話用フリーダイヤルは、7月31日で終了。

(2) 事務局相談担当者による相談事業

(3) 関係団体等の研修会、研究会への参加(一部リモート会議に参加)

(4) 各専門相談員との連携の強化と諸課題の共有

(5) 創立50周年記念事業「社会保障ガイドブック」改定版の作成

(6) 相談事業の在り方について1年間をかけて協議する

## 4. 腎臓病に関する情報発信

### (1) 会報「ぜんじんきょう」の発行

年6回、年間総発行数50万部を予定。

### (2) 声の会報

年6回、視力障害者等を対象に会報「ぜんじんきょう」を音声化したCDを配布、年間1000枚を配布(2020年度調査に基づき加盟組織の希望枚数を配布)

### (3) 書籍の発行

「透析をはじめの人のためのガイドブック」等腎臓病患者の生活の向上に役立つ書籍の頒布

### (4) ホームページの活用

### (5) ニュースレター等での情報発信

### (6) 創立50周年記念事業としてDVDの作成 企画・内容について検討中

## 5. 通院介護対策事業への取り組み

### (1) 通院、入所、入居、在宅治療における課題への具体的取り組み

①要介護(要支援)透析患者の通院及び公共交通機関の廃止、高齢化する患者の運転免許返納や運転自粛傾向に伴う通院困難者対策への取り組み。地域を限定したアンケート実態調査

②通院困難者(重度要介護者)の施設入所・入居対策及び施設見学

### (2) 2021年度通院介護研修会の開催 日時：11月6日(土)、7日(日) 会場：ホテル新大阪(大阪府大阪市)

※新型コロナウイルス感染症対策のため

リモート会議も検討中

### (3) 「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟」(CKD議連)

ワーキンググループへの提言(通院対策、高齢者施設入所・入居対策)

### (4) 介護保険制度2021年「改定」の情報収集と対策への取り組み

(5) 情報発信  
①「はーと・なび」の発行  
介護保険、道路運送法、高齢者施設(入居・入所)情報等の会員・患者への情報発信及びホームページへの掲載

## 6. 透析医療の確保、治療と生活の質の向上への取り組み

### (1) 公的医療費助成制度の確保

①自立支援医療(更生医療)維持への要望活動  
②都道府県・市町村の施策である障害者医療費

助成制度の後退を阻止するため、情報を共有し都道府県組織での取り組みを支援

**(2) 生活の質 (QOL) の向上への取り組み**

- ①自己管理を行う上での基礎知識の習得(血液検査の数値の意味・食事療法の基礎知識等)及び患者自身への関心度を高めるための情報発信
- ②透析患者のリハビリテーションや運動療法の必要性の情報発信
- ③関係団体(日本透析医会、日本透析医学会、日本腎臓学会、日本看護協会等)との協調・連携

**(3) 治療選択の拡大への取り組み**

- ①血液透析、腹膜透析、腎臓移植の選択ができる環境整備のための、家庭透析、CAPD等の情報発信
- ②在宅医療の環境整備のための調査研究

**(4) 再生・移植医療の調査**

- ①iPS細胞を使った再生医療やES細胞からの治療薬の研究の情報収集、早期実現を目指した要望活動

**(5) 新型コロナウイルス感染症対策への取り組み**

- ①情報収集、患者への情報発信及び感染予防の注意喚起
- ②行政、関係団体、関係学会への要望
- ③リモート会議、テレワークの整備

**7. 生活・所得補償**

**(1) 生活できる障害年金受給のための取り組み**

- ①初診日証明の課題の解決
- ②移植者の認定基準見直し
- ③失権制度の廃止など無年金者救済

**(2) 腎臓病患者、透析患者の就労支援の取り組み**

雇用者への腎臓病や人工透析治療の理解推進を行政と連携して行う(ハローワークまたは都道府県)

**8. 災害対策**

**(1) SNSの普及と災害アプリケーションの有効利用についての調査研究**

**(2) 全国の代表者が参加する会議を利用した災害対策講演会の開催**

※新型コロナウイルス感染症対策のため一部リモート講演会開催の検討

**(3) 大規模地震、集中豪雨、豪雪、火山噴火等の災害発生時の情報収集と情報発信のための体制の整備。必要に応じて被災地の見学を実施**

**(4) 行政、関係団体、企業等との連携による広域災害対策への取り組み**

**(5) 会報を利用した会員への災害対策資料「災害に備えて」の提供と壁新聞「レスキュー便り」の発行**

**9. 調査研究と政策提言**

**(1) 第51次国会請願の実施**

2022年3月17日(木)実施予定

**(2) 第66回日本透析医学会学術集会への参加**

日時:6月3日(木)~6月6日(日)  
会場:パシフィコ横浜

**(3) リハビリテーション、在宅透析、臓器移植等関連学会及び研究会への参加**

**(4) 「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟」(CKD議連)への参加**

**(5) 血液透析患者実態調査の実施**

5年毎に実施している透析患者を対象とした実態調査を実施

**(6) リモート会議の普及のための調査研究**

インターネットを利用したリモート会議による会議、会員交流等のための調査研究

**10. 組織的課題への対応**

**(1) 一般社団法人としてふさわしい組織基盤の確立**

- ①一般社団法人としてコンプライアンス(法令遵守及びガバナンス)の確立。コンプライアンス委員会を中心にコンプライアンスに基づいた会運営
- ②「事務局ハンドブック」の発行(追加資料)
- ③理事研修会の開催  
理事会開催時に、随時直面する課題をテーマに研修会を開催
- ④全国事務局長会議の開催  
事務局を運営する責任者のレベルアップを目的

とした研修会を開催。テーマについては、未定  
日時:7月3日(土)、4日(日)

会場:アワーズイン阪急(品川区大井町)

※新型コロナウイルス感染症対策のため各県1名参加。状況によって、リモート会議による研修会を開催

**(2) 青年層患者の活性化を目指した取り組み**

①青年層患者の諸課題解決のための研修会の開催

日時:9月11日(土)、12日(日)

会場:ホテル新大阪(大阪府大阪市)

※新型コロナウイルス感染症対策のためリモート会議を検討中

②地域の青年層患者の活性化を目的としたブロック代表者会議の開催

日時:未定

会場:未定

※新型コロナウイルス感染症対策のためリモート会議を検討中

③ブロック青年部長会議の開催

日時:各ブロック内で協議し決定

会場:各ブロック内で協議し決定

**(3) 組織強化、入会率の増加への取り組み**

- ①語り部による患者会へのアプローチ「プラスワン草の根運動2021」  
語り部が病院患者会等を訪問し、資料を基に患者会活動の歴史と活動の必要性を訴え、患者会へ入会してもらうための取り組み

②入会案内ポスターの改定

③組織対策用入会御礼グッズの作成

④都道府県組織及び地域を対象とした「特区チャレンジ事業」の継続

**(4) 全国代表者シンポジウムの開催**

加盟組織との連携強化及び諸課題の共有とその対策について協議を行うことを目的としたシンポジウムの開催

日時:11月27日(土)、28日(日)

会場:アワーズイン阪急(品川区大井)

※新型コロナウイルス感染症対策のため各県1名参加。状況によっては、リモート会議による研修会を開催

**(5) 全腎協事務局体制の整備**

- ①事務局運営での、事務局体制、事務局員の業務・責任の明確化
- ②事務局員のスキルアップのため、研修会等への参加

**(6) 中長期の全腎協の運営、財政について、会員減少等を鑑み引き続き検討する**

中長期運営検討委員会が中心となり協議を行っていく。中長期運営検討委員会に専門家等外部委員の参加をすすめる。委員会で協議した内容および課題は、理事とも共有する

**11. 事業推進のために**

**(1) 各種会議の開催**

※新型コロナウイルス感染症対策のため一部リモート会議の可能性あります。

**①社員総会**

第8回定時社員総会

日時:6月26日(土)、27日(日)

会場:アワーズイン阪急(品川区大井町)

**②理事会**

第29回通常理事会

日時:4月24日(土)、25日(日)

第30回通常理事会

日時:9月25日(土)、26日(日)

第31回通常理事会

日時:1月22日(土)、23日(日)

第32回通常理事会

日時:3月12日(土)、13日(日)

会場:ホテル新大阪(大阪府大阪市)

**③業務執行役員会**

**④ブロック会議**

⑤委員会体制(組織対策委員会、通院介護委員会、社会保障委員会、災害対策委員会、青年委員会、中長期運営検討委員会、創立50周年記念事業準備委員会、コンプライアンス委員会)

**(2) 事業推進体制**

**(3) 関係学会等との連携**

**(4) 関係団体との連携**